

学校経営ビジョン ○ 「凡事徹底」を基盤とした指導による「仲間と共に知恵をしまり、思いやりの心をもって、最後までやりぬく児童」の育成

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	<p>重点目標 ○ 「学びたい」意欲をもって、主体的かつ積極的に学習し、着実に学力を身に付けていく児童の育成</p> <p>手段 1 授業の充実・改善・・・規律と活気があり「わかる・できる」授業 ※相互参観授業の日常化 2 家庭学習の徹底 3 「栗っこタイム」「パワーアップタイム」の実施 4 読書の推進「読み聞かせ」、図書館協力員との連携 等 5 新聞の活用 6 ICTの有効な日常活用 ～タブレットPC活用充実 7 特別支援教育を意識した学習指導の充実 8 キャリア教育の充実</p>	<p>1について ○ 1人1回の相互授業参観が教員の授業力の向上、児童の学力向上につながったと考える。今後も継続して行っていく。 ○ えんぴつの正しい持ち方について、現在1年57%、2年46%にとどまっているのでより意識的な指導を継続していきたい。</p> <p>2について ○ 各学年、家庭への啓発を続けているが、個に応じた家庭学習の取り組みせ方についてさらに研究が必要である。</p> <p>3について ○ 朝のパワーアップタイムでは、基礎学力を定着するための時間が確保できた。より目的を明確にした取組により、さらに学力向上につなげていく。</p> <p>4について ○ 12月末現在、児童1人あたりの貸出冊数86、1冊である。</p> <p>5について ○ 本年度も子ども新聞の内容を基にしたクイズを実施することで、効果的な活用ができた。新聞投稿も積極的にいき、現在2名が掲載。</p> <p>6について ○ タブレットPCの活用については、教員、児童共にスキルが高まっており、職員間でもスキルの共有を積極的に行っている。</p> <p>7・8について ○ コロナによる制限が緩和され、内容に応じて外部講師を積極的に活用することができた。学習支援ボランティアの効果的な活用について、今後さらに検討を進めていく。 ○ 高学年における一部教科担任制については、職員体制の変更により、年間通して実施することができなかった。</p>	3.1 (2.8)	3.3 (3.1)	<p>1 えんぴつ、はしの持ち方は根気強く指導をお願いしたいです。 1 「わかる・できる」授業への取組、ありがとうございます。伸びが十分でないときや、つまずきがあった場合に柔軟に対応してもらえるとうれいです。 1 えんぴつの正しい持ち方については、2年生の孫もできていないようです。家での指導も気をつけたいです。 えんぴつの持ち方は、低年齢のうちに自己流になってしまうそうなので、箸と同様に保護者の声かけも大切かと思います。 4 図書の本をみんな沢山読んでいてすごいです。冬休み明けなど、本を沢山読む時期にでも印象に残った本など、紹介し合うと色々な本への感心が高まるのではないのでしょうか。皆さんかどんな本を読んでいるのか知りたい児童もいるかと思います。 6 中学校に入ると、タブレットで課題を提出したり、パワーポイントを作成したり、タブレットを使わなければならない機会が増えレベルも上がります。基本的な操作など、どんどん使用しスキルを上げてほしいです。 6 ICTの活用で、児童の授業へのモチベーションが高まって良いと思います。 6 ICTを活用した授業は、効果があったと自宅でも実感できました。また、教員相互の授業参観を実施しているのもすばらしい取組だと思います。体験授業をもう少し増やしてみてもいいかと思います。 7・8 学習ボランティアを積極的に活用し、多方面で地域の方との関わりを持ってほしいです。</p>
徳育	<p>重点目標 ○ 自他のいのちやきまり、礼儀を尊重し、日々実践する児童の育成</p> <p>手段 1 気持ちのこもったあいさつ、返事、会釈の徹底 2 児童の実態に基づいた道徳教育・人権教育の充実 3 いじめ・不登校に関する指導の充実 4 清掃指導の徹底（一所懸命、無言清掃 等） 5 きまりの徹底（栗須小学校のきまり） 等 6 安全指導の徹底（栗須小安全マーク・0の約束） 7 「ZOOM」等を活用した集会等の実施</p>	<p>1について ○ 進んであいさつできる児童が増えた。今後、笑顔で気持ちよくあいさつできる児童が増えるための日常指導を心がけていく。</p> <p>2について ○ 人権週間を設定し、道徳の時間等において差別や人権に関する内容を取り上げることによって児童の人権感覚を高めることができた。</p> <p>3について ○ いじめについては、認知解消率100%を継続することができた。不登校については、保護者や関係諸機関と連携を取り、本人の気持ちに寄り添いながら、今後も解決への道を模索していく。</p> <p>4・5について ○ 一部縦割り清掃を再開し、「縦の関わり合い」を意識した取組を行っている。きまりについては、「教えること」と「考えさせること」を児童の発達段階に応じてこれからも指導していく。</p> <p>6について ○ 児童の命と人権を最優先とした学校運営を実施してきたが、交通安全や学校で安全に過ごすことについて児童の意識が高まってきた。</p> <p>7について ○ 熱中症予防や感染症対策など、必要に応じて活用できた。</p>	3.2 (3.1)	3.6 (3.3)	<p>1 誰に対しても気持ちよいあいさつができる子どもたちになって欲しいです。 1 あいさつはとても大事なことだと思います。家庭でも親子ともに大事な話をしたいののかなあと思っています。あいさつすると自分もいい気持ちになるし、また、あいさつされるとうれしくなって笑顔になるからです。時々笑顔と元気をもらいに立ち番に行きたいです。あいさつしてもらったら、「ありがとう」♪と言いたくなります。 ※ 会釈もいいですね。 1 あいさつが進んで来ている児童が多いと思います。コミュニケーション能力が高い児童も多く感じます。地域との交流の活性化にもなりそうです。 1 あいさつについては個人差がある為、指導をお願いします。 1・6 ほぼ毎日、朝、通学する姿を妻と2人で見送っていますが、やはりあいさつの出来ない子供さんもいらっしゃいます。こちらが何回あいさつしても知らん顔！！残念です。中学生も通ります。最近はずいぶん子供さんの名前も覚えて、こちらから名前を呼ぶとニコリしてくれました。皆、可愛いです。車両が多い為、横断歩道手前ですんなりとは、止まってもらえない事も多々あります。事故の無い事を願うばかりです。 2・3 相手を思いやれる相手の立場になって考えられるような指導をして欲しいです。言葉遣い等、時には厳しい指導をお願いしたいです。 6 児童の命を大切に思っ学校を運営して下さっているのが伝わら、</p>

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等及び取組	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
体育	<p>重点目標</p> <p>○ 自分の身体の状態に関心をもち、健康の保持増進や体力の向上に進んで取り組む児童の育成</p> <p>手段</p> <p>1 集団行動の基本様式の定着</p> <p>2 体力・運動能力の向上</p> <p>3 新型コロナウイルス感染、熱中症予防への対応</p> <p>4 疾病治療の推進</p> <p>5 立腰の徹底</p> <p>6 肥満傾向児への個別指導の実施</p> <p>7 保健室利用のガイドライン設定</p>	<p>1・2について</p> <p>○ 運動会練習や体育の授業の中で、集団行動の基本様式の定着を図ってきた。運動能力については、課題であった「持久力」や「ボール投げ」において向上が見られた。今後は「握力」や「筋持久力」を向上させるための手立てを考える必要がある。</p> <p>3について</p> <p>○ 夏休み明けの残暑が厳しい時期には、熱中症警戒アラートに従い、体育や昼休みの外遊び時間の制限を行った。冬場の感染症対策としてマスク着用や手指消毒等をこまめに呼びかけた。</p> <p>4について</p> <p>○ 歯科治療については1月現在78、4%である。年度末まで各家庭に対し、治療の勧めを行っていく。</p> <p>5について</p> <p>○ 立腰についての自己評価は、児童は81%だが、職員は64%であった。児童の意識を変える指導の工夫が今後必要である。</p> <p>6について</p> <p>○ 肥満傾向児童への個別指導については、保護者の協力を得ながら、今後も関係諸機関との連携を図っていく。</p> <p>7について</p> <p>○ 保健室を利用する児童については、時期にもよるが減少傾向が見られる。</p>	3.1 (2.9)	2.5 (3.3)	<p>先方の姿勢に感動しています。それを見ている児童、保護者の意識も高まっていると思います。</p> <p>6 大きな事故やケガがなく学校生活を送れたことは先生達のおかげです。ありがとうございます。</p> <p>1・2 持久走大会で個人の能力に応じて走る距離を決める事は良い案だと思いますが、6年生が800mは短いのでは？と思います。1000m走る学年があるので6年生は1000m、1200mの2択でも良いのではないかと思います。</p> <p>1・2 運動会楽しみにしています。弁当を囲みながら食事する方が私達祖母はうれしいです。でも、朝早くからの準備も大変なのでわかります。でも、丁度お昼すぎぐらいで昼食、運動会も終わりよかったですと思います。子どもさん達も一所懸命頑張っている様子が伝わり、よかったですと思います。</p> <p>1 集団行動の定着で、ルールに従うことや協調性、気づきつなげるのではと思うので、指導して下さいとありがたいです。</p> <p>2 体力低下及び肥満傾向児が増加しているように思います。全体的に体力が低下している為、楽しく動ける授業を増やすのもいいと思います。</p> <p>3 残暑が厳しかったので、運動会の練習や外での体力作り等はずかしかったですと思います。</p>
食育	<p>重点目標</p> <p>○ 食に関心をもち、望ましい食習慣を実践する児童の育成</p> <p>手段</p> <p>1 T Tによる食に関する授業の推進</p> <p>2 給食の時間の指導の充実</p> <p>3 「食について考える日」の推進</p> <p>4 米作りや交流給食等の食に関する体験活動の充実</p> <p>5 個別の相談指導の充実</p> <p>6 朝食指導の充実</p>	<p>1について</p> <p>○ 一部の学年で参観日に食に関する授業や給食試食会を行い、児童や保護者に対して食への関心を高めることができた。</p> <p>2について</p> <p>○ 各学級、食べられる分を配膳し、余った分はおかわりにするなどの対応をとることをとおして、残食の減少につなげることができた。</p> <p>3について</p> <p>○ 夏季休業中に「食について考える日」を設け、コースを選択するそれぞれの家庭に合った取り組み方で実施することができた。</p> <p>4について</p> <p>○ 毎年恒例の稲作は、本年度も5年生の種まきからスタートし、田植え、稲刈りと多くの関係機関のご協力の基、全校で行うことができた。</p> <p>5について ○ (体育の部、6について参照)</p> <p>6について</p> <p>○ 朝食については、ほぼ100%の摂食率を維持しているが、朝食の内容についても今後深堀していく必要がある。</p>	3.3 (3.2)	3.7 (3.7)	<p>1・6 朝食指導や食の授業の参観で、保護者も一緒に食への思いを見直す良い機会となっています。今後もよろしく願います。</p> <p>3 親子のコミュニケーションを図る良い機会でした。</p> <p>4 5年生の種まきから苗を作るのは良い体験になると思います。今後も継続して欲しいです。</p> <p>4 毎年お陰様で栗須小学校のもち米を買って、おいしいもち米を作ることができています。感謝しています。ありがとうございます。</p> <p>4 種まきからの米づくりからもち米の販売まで行える学校は少ないのではと思います。要須の自慢です！ありがとうございます。</p> <p>4 食についての授業は、稲作体験等すばらしい取組だと思います。今後も継続してほしいです。</p>
その他	<p>○ 人材育成・働き方改革について</p> <p>手段</p> <p>1 授業力向上をモットーに、一人一人が授業実践を積み重ねることで、全職員の授業力の向上を図ると共に、授業論文応募積極的に取り組む。</p> <p>2 相互授業参観の日常化と授業研究会の充実。</p> <p>3 職員一人一人のライフステージにおける指標を理解させ、教職員評価制度等を通して、それぞれのキャリアデザインを描かせる。</p> <p>4 明るい職員室の雰囲気作りに努め、職員間の風通しをよくするとともに、月45時間以上残業する職員「0」を目指す。</p> <p>5 ICT活用やペーパーレスによる会議の簡略化と職員同士の連携を強化する。</p> <p>6 業務の平準化と協働体制の強化等による時間外勤務の縮減と、放課後の時間確保に努める。</p> <p>7 統合型校務支援システムを有効活用する。</p>		2.9 (3.0)	2.8 (3.5)	<p>4 先生方も残業等、無理のないよう働いて頂きたいです。</p> <p>○ 毎日、朝早くから児童のために先生方一所懸命指導くださり、ありがとうございます。先生方の健康面、どうぞ気を付けてください。</p> <p>○ 教員(担任)の変更等が多く、子供達にも混乱を招いたと思います。大変だと思いますが、教員の充実を実現し、子供達に目が行き届く安全な学校生活を送ってほしいです。</p>

※ () は令和4年度の評価

次年度の方向性についての校長所見	<p>次年度も学校経営ビジョンである「『凡事徹底』を基盤とした指導による『仲間と共に知恵をしぼり、思いやりの心をもって、最後までやりぬく児童』の育成」を目指しながら、児童が「安心して登校、楽しく学校生活」を送ることができる学校づくりを行っていく。また、以下の3点については、特に具体的な取組を行う。</p> <p>① 児童の基本的な生活習慣と学力の向上・・・「気持ちのよいあいさつ」を基盤に、児童の望ましい生活習慣や態度の育成に努めることを通して、やるべきことに打ち込む習慣や態度を育成し、学力向上を目指す。</p> <p>② 体力向上プランを活かした児童の体力の向上・・・児童の実態を基に作成した「体力向上プラン」を活かしながら、児童が気候に合わせて1年間運動を楽しめるシステムを構築する。</p> <p>③ 人材育成・働き方改革・・・教職員の授業力(指導力)向上と長所発揮をねらったOJTの場を確保するとともに、業務の平準化と協働体制の強化に努め、健康でやりがいをもって能力を発揮できる環境を整備する。</p>
------------------	---